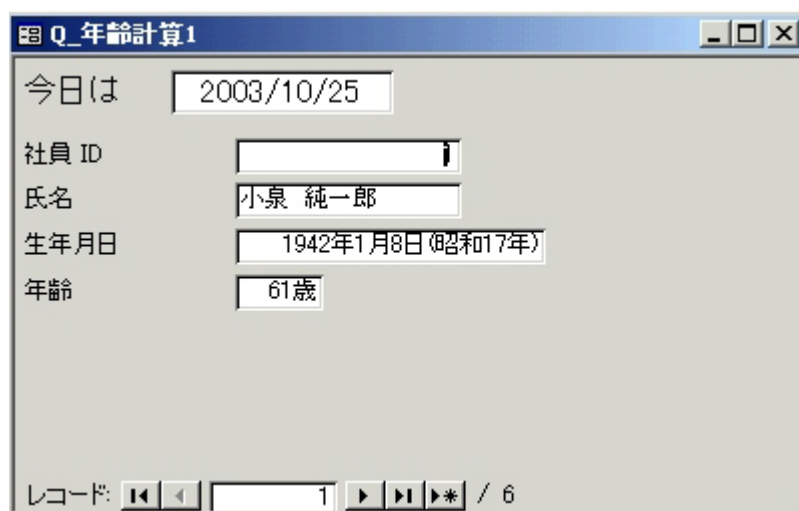


生年月日から年齢を表示する

生年月日から年齢を表示する - ユーザー関数を作る

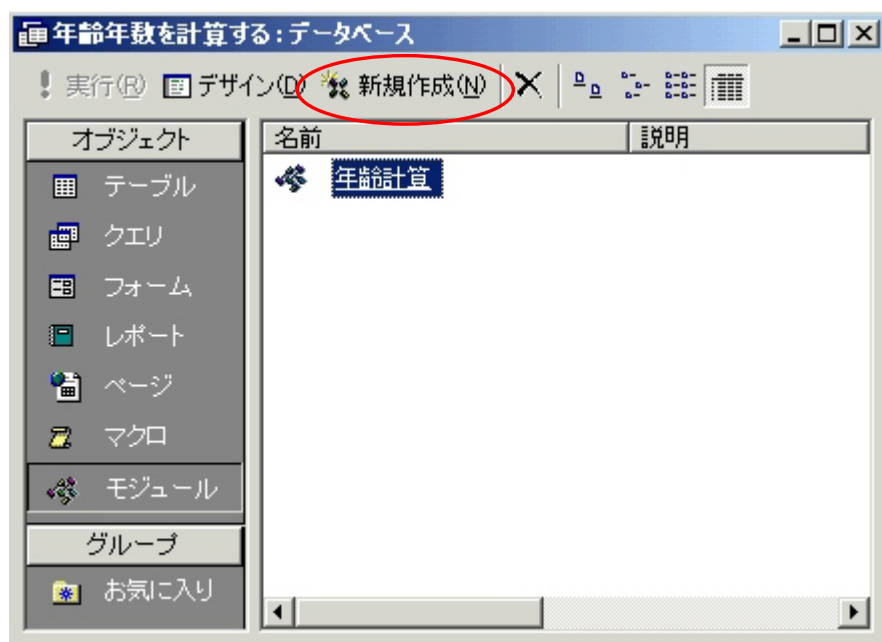
生年月日から年齢を自動的に計算して表示してくれると何かと便利です。年齢は「早生れ」があったりしてなかなか正確な年齢がわかりにくいものです。特に年を重ねて行くと、自分の「トシ」さえあやふやになるときがあるくらいですので…。そこで次のフォームのように生年月日を入力すると、年齢を計算してフォームに表示する方法を考えます。



左フォームのように、「生年月日」を入力すると「年齢」が表示されるようにします。

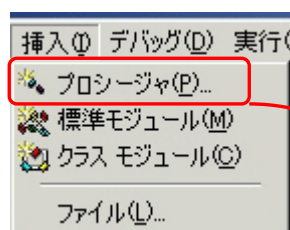
[Memo]日付や時間の計算は、買い物などの計算とは大きく違います。というのは、1 年は 12 ヶ月という「12 進法」で成立していますし、月は 31 日と 30 日そして 28 日(閏年は 29 日)という極めてバラエティーにとんだ「n 進法」で成立しているからです。ちなみに時間は 60 進法(分・秒)と 12(24)進法ですね。したがって、単純な四則演算では計算結果が出にくいわけです。

年齢を計算する関数は残念ながらありませんので、ユーザー関数を作って計算させます。



ユーザー関数「age1」を作ります
[データベース]ウィンドウから[モジュール]を選択します。
[新規作成(N)]を選択し、表示された VBE の編集画面から[挿入(I)]-[プロシージャ(P)]を選びます。

生年月日から年齢を表示する



[名前(N)]にプロシージャの名前を付け、[Function プロシージャ(F)]を選びます。

次のようなモジュールを記述します「'(アポストロフィ)」で記述された箇所は説明です。

```
Public Function age1(生年月日 As Date) As Integer
    'ユーザー定義関数：age1(整数型；戻り値・年齢)、引数：生年月日（日付/時刻型；入力値）
    If Date < DateSerial(Year(Now), Month(生年月日), Day(生年月日)) Then
        '年齢算出日より生年月日が「前（過ぎていないとき）」には、
        '日付の経過年数から1年を引いた戻り値（年齢）にセットする
        age1 = DateDiff("yyyy", 生年月日, Now) - 1
    Else
        '過ぎているときは「生年月日」と年齢算出日の経過年数の値を戻り値にセットする
        age1 = DateDiff("yyyy", 生年月日, Now)
    End If
End Function
```

上記を次のように記述しても同じです。「Toshi」は任意の言葉です。

```
Dim Toshi AS Date
Toshi = DateSerial(Year(Now), Month(生年月日), Day(生年月日))
If Date < Toshi then
```

ここでのユーザー関数は「age1」という名前です。この名前は任意の名前です。名前はアルファベットや数字がいいようです。漢字やひらがなカタカナの名前はクエリーで使用の際に不都合があることがあります。

ここで作成したユーザー定義関数「age1」をクエリーで使います。

生年月日から年齢を表示する

「社員マスター」テーブルを元に次のクエリを作成します。

Q_年齢計算1: 選択クエリ

社員マスター

*
社員ID
氏名
生年月日
入社日

フィールド:
テーブル:
並べ替え:
表示:
抽出条件:
または:

社員ID	氏名	生年月日	年齢: age1([生年月日])
社員マスター	社員マスター	社員マスター	
☒	☒	☒	☒

ズーム

年齢: age1([生年月日])

OK

キャンセル

(フоновドゼ)

F_年齢計算1: フォーム

1 2 3 4 5 6 7

フォーム ヘッダー

今日は 非連結

詳細

社員ID	社員ID
氏名	氏名
生年月日	生年月日
年齢	年齢

フォーム フッター

この[クエリ]に名前をつけて保存し、これを元に[フォーム]を作成します。

生年月日から年齢を表示する

「生年月日」のコントロールボックス(テキストボックス)のプロパティを次のように設定します。

書式	データ	イベント	その他	すべて
名前	生年月日			
コントロールソース	生年月日			
書式	yyyy年m月d日(“ggge”年)			
小数点以下表示桁数	自動			
定型入力	0000/00/00;0_			
既定値				
IME 入力モード保持	いいえ			
IME 入力モード	コントロールなし			
IME 変換モード	一般			
ふりがな				
住所入力支援				
入力規則				
エラーメッセージ				
ステータスバーテキスト				
Enterキー入力時動作	既定			
オートコレクト	はい			
可視	はい			
表示対象	印刷/画面			
縦書き	いいえ			
禁則処理	はい			
使用可能	はい			
編集ロック	いいえ			

また、「年齢」のコントロールボックス(テキストボックス)のプロパティを次のように設定します。

書式	データ	イベント	その他	すべて
名前	年齢			
コントロールソース	年齢			
書式				
小数点以下表示桁数	自動			
定型入力	aa“歳”			
既定値				
IME 入力モード保持	いいえ			
IME 入力モード	コントロールなし			
IME 変換モード	一般			
ふりがな				
住所入力支援				
入力規則				
エラーメッセージ				
ステータスバーテキスト				
Enterキー入力時動作	既定			
オートコレクト	はい			
可視	はい			
表示対象	印刷/画面			
縦書き	いいえ			
禁則処理	はい			
使用可能	はい			
編集ロック	いいえ			

上記のように設定すれば、[1 ページのようなフォーム](#)になります。